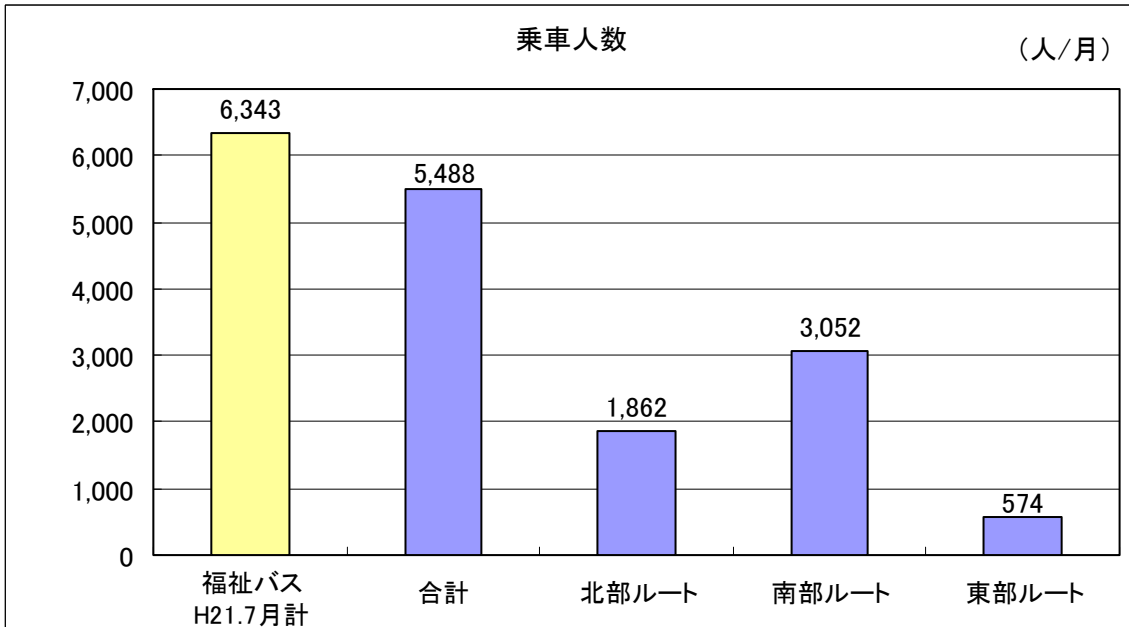


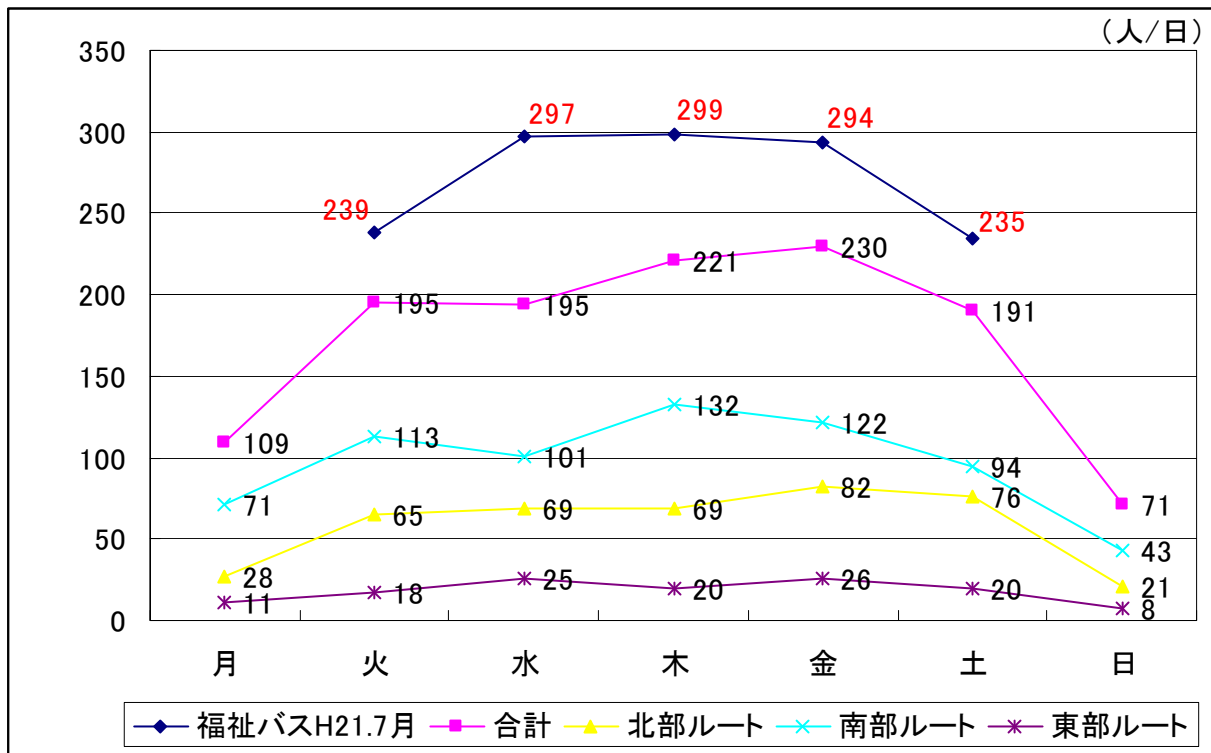
利用者実態調査の内容について

【弥富市コミュニティバス 31 日間（7 月 1 日～7 月 31 日）の実績】

① 路線別乗車人数



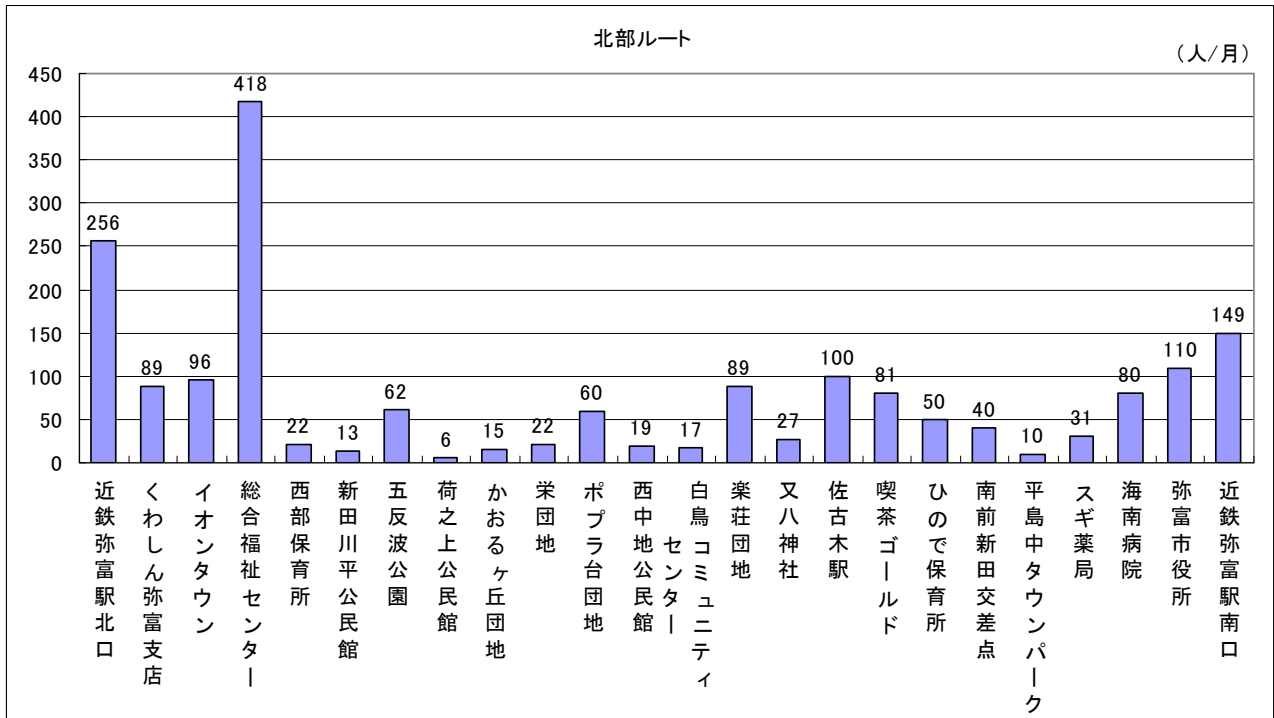
② 曜日別乗車平均人数



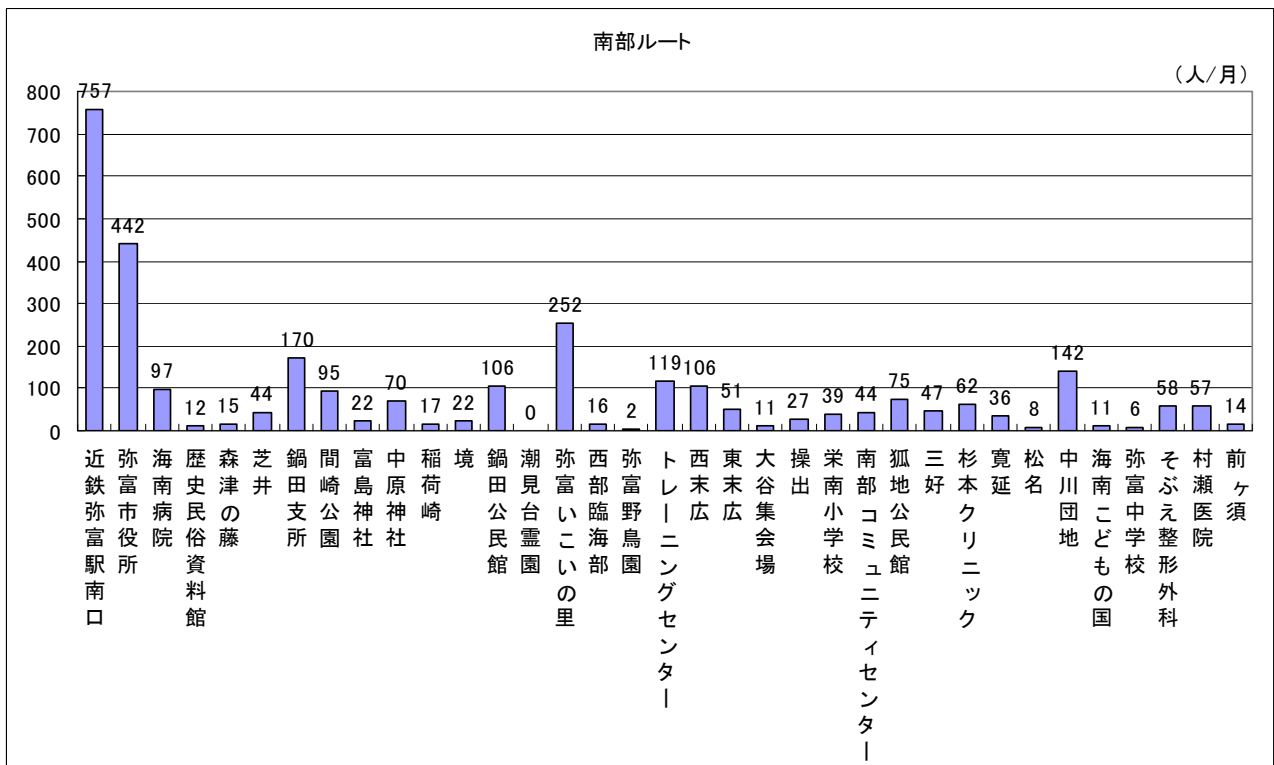
- 乗車人数は、7 月 1 日～7 月 31 日での全合計は、5,488 人であった。北部ルートは 1,862 人、南部ルートは 3,052 人、東部ルート 574 人である。
- 曜日別乗車平均人数は、月曜日、日曜日の利用がとても低い結果である。

③バス停別乗車人数

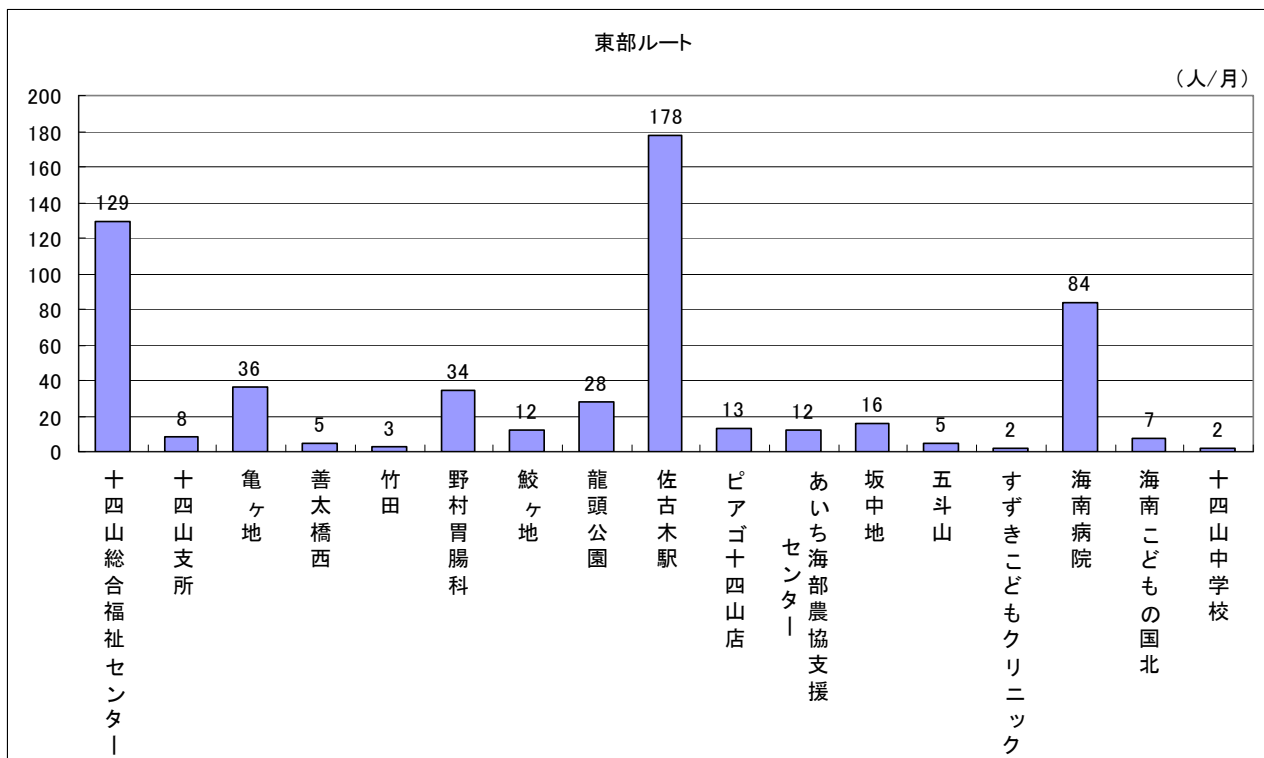
北部ルート



南部ルート



東部ルート

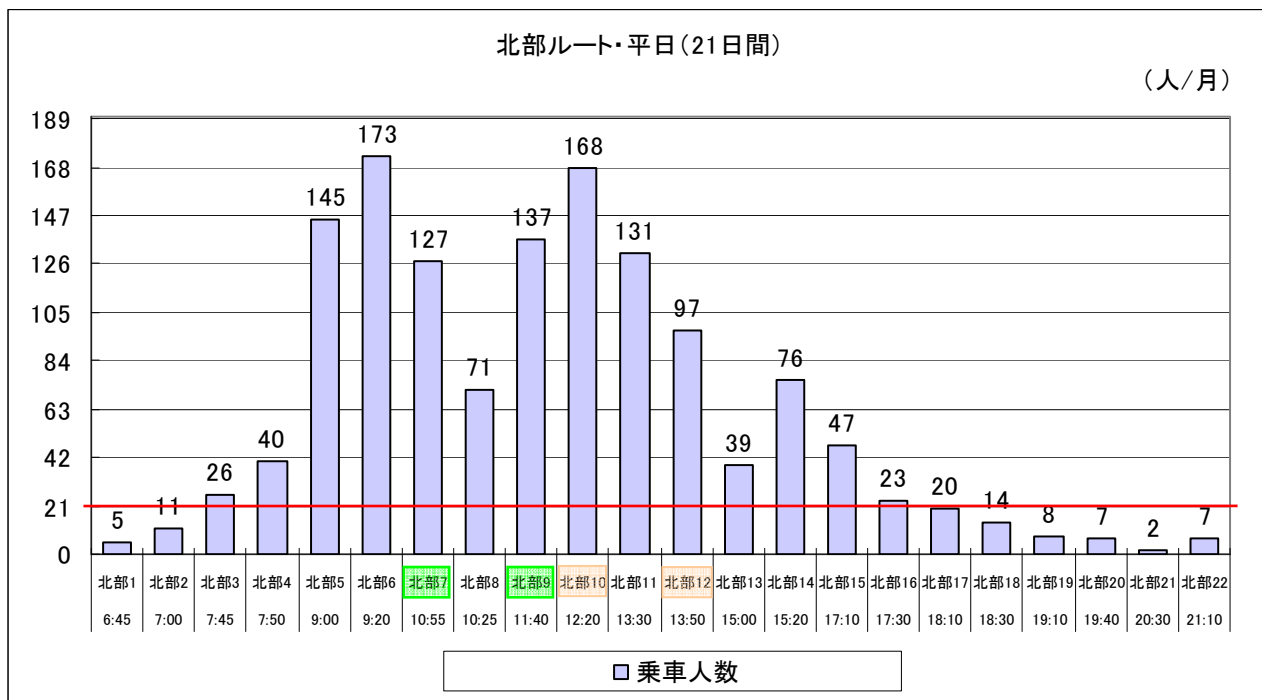


- 北部ルートの乗車人数が多いバス停は、「総合福祉センター」「近鉄弥富駅北口」「近鉄弥富駅南口」である。
- 南部ルートの乗車人数が多いバス停は、「近鉄弥富駅南口」「弥富市役所」「弥富いこいの里」である。
- 東部ルートの乗車人数が多いバス停は、「佐古木駅」「十四山総合福祉センター」「海南病院」である。

参考：福祉バスの乗車人数が多かったバス停は、「総合福祉センター」「弥富市役所」「近鉄弥富駅北口」「弥富いこいの里」「十四山総合福祉センター」「鍋田支所」である。

④時間帯別乗車人数

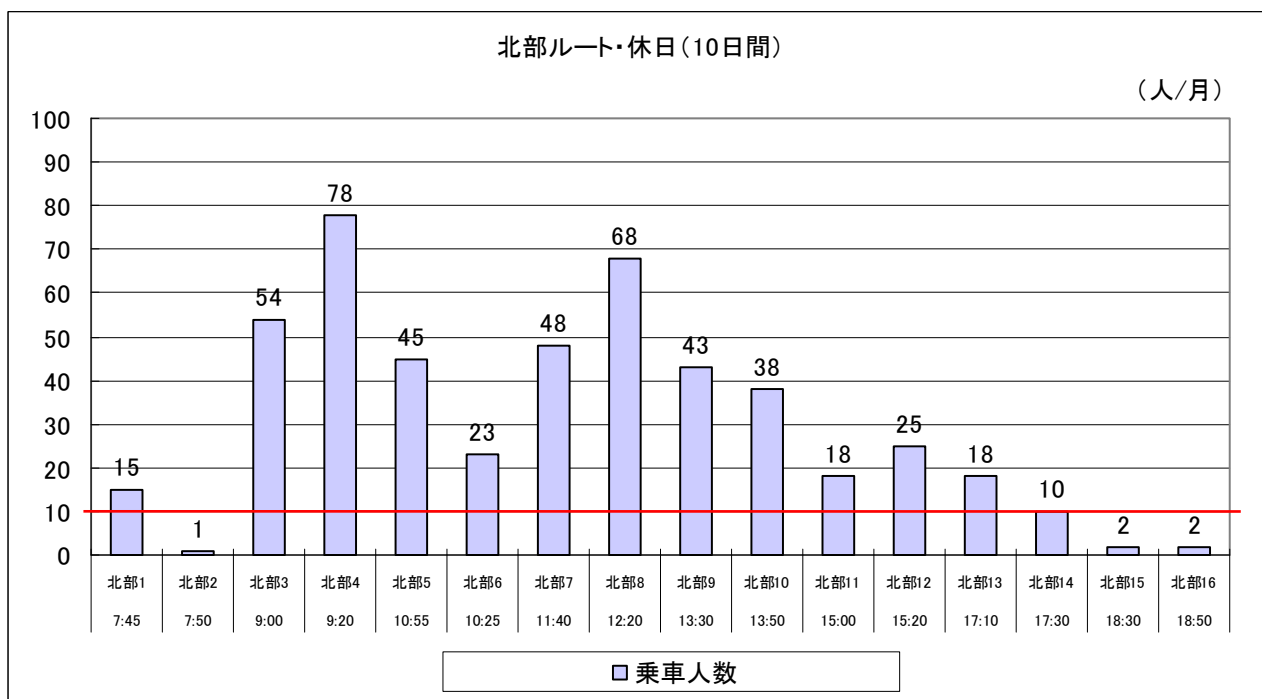
北部ルート



■ 南部ルートから総合福祉センター（北部ルート）への乗継

■ 総合福祉センター（北部ルート）から南部ルートへの乗継

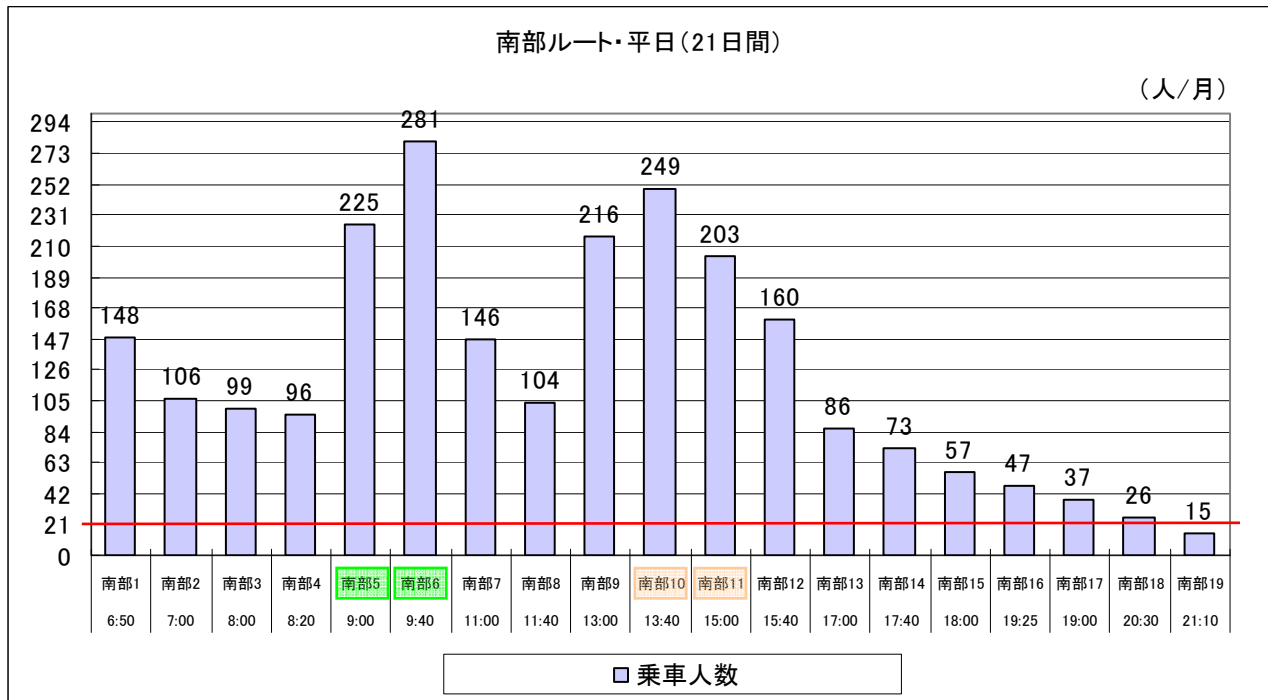
— 1日平均1人以上乗車ライン



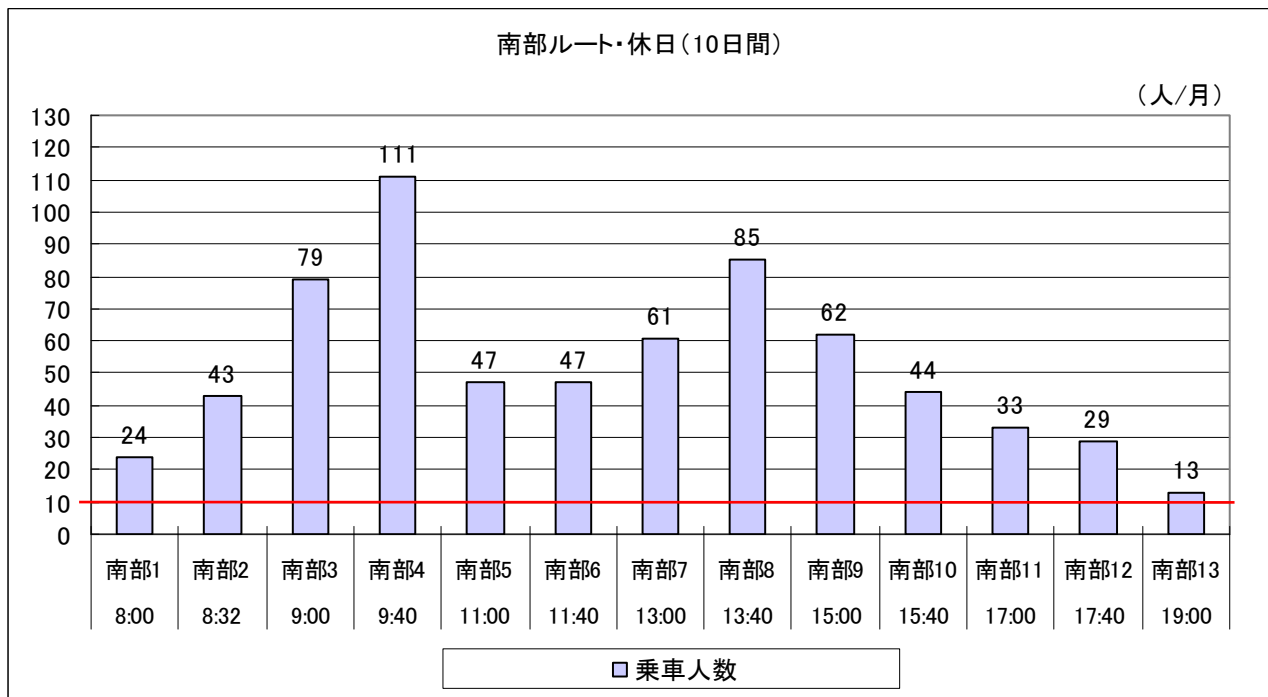
— 1日平均1人以上乗車ライン

● 北部ルートの1日平均1人以上の割合は、平日 **70%** (22便中14便)、休日約 **80%** (16便中13便)

南部ルート



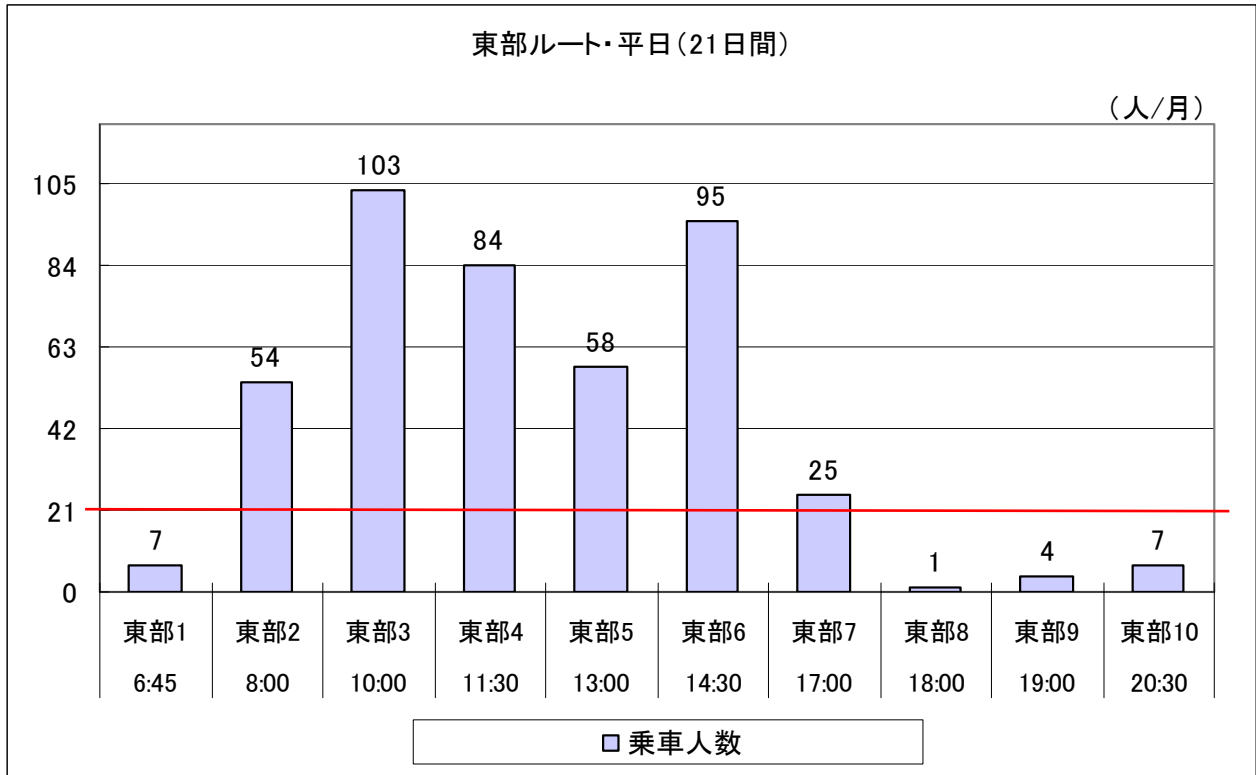
- 南部ルートから総合福祉センター（北部ルート）への乗継
- 総合福祉センター（北部ルート）から南部ルートへの乗継
- 1日平均1人以上乗車ライン



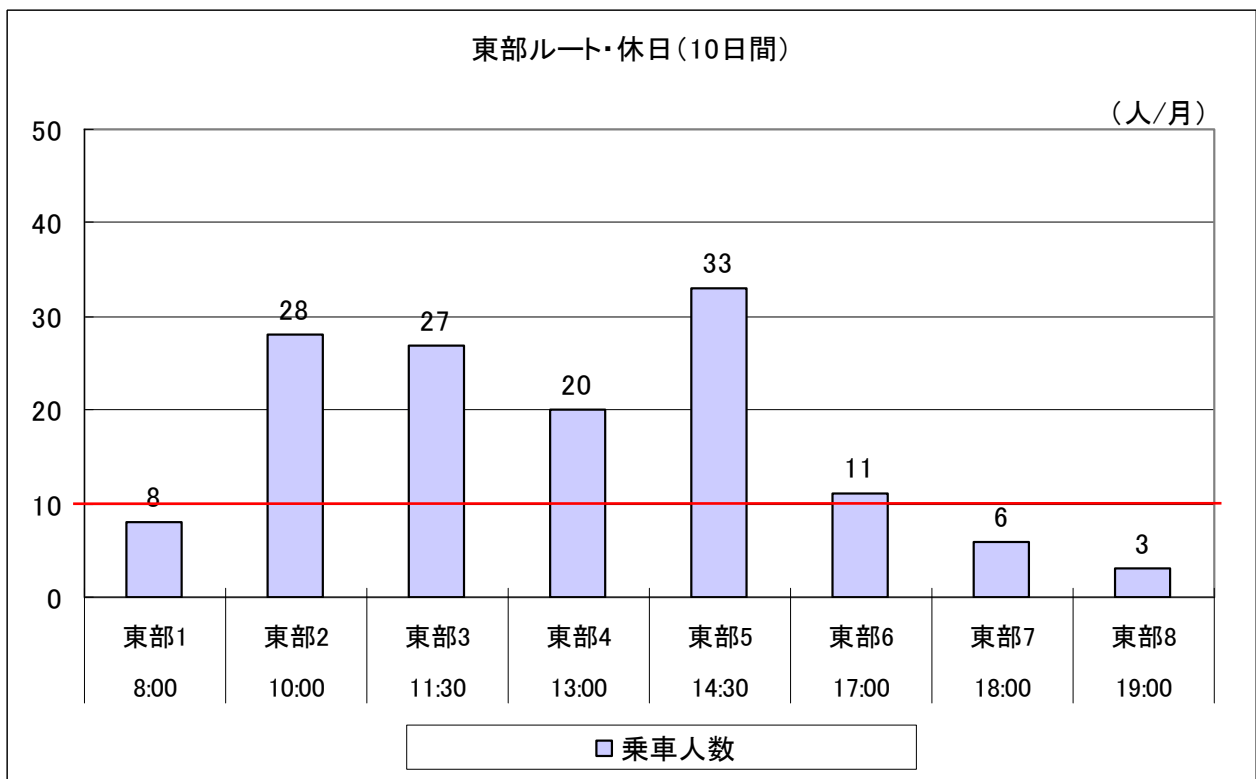
- 1日平均1人以上乗車ライン

● 南部ルートの1日平均1人以上の割合は、平日約95% (19便中18便)、休日100% (13便中13便)

東部ルート



— 1日平均1人以上乗車ライン



— 1日平均1人以上乗車ライン

● 東部ルートの1日平均1人以上の割合は、平日 **60%** (10便中6便)、休日約 **60%** (8便中5便)

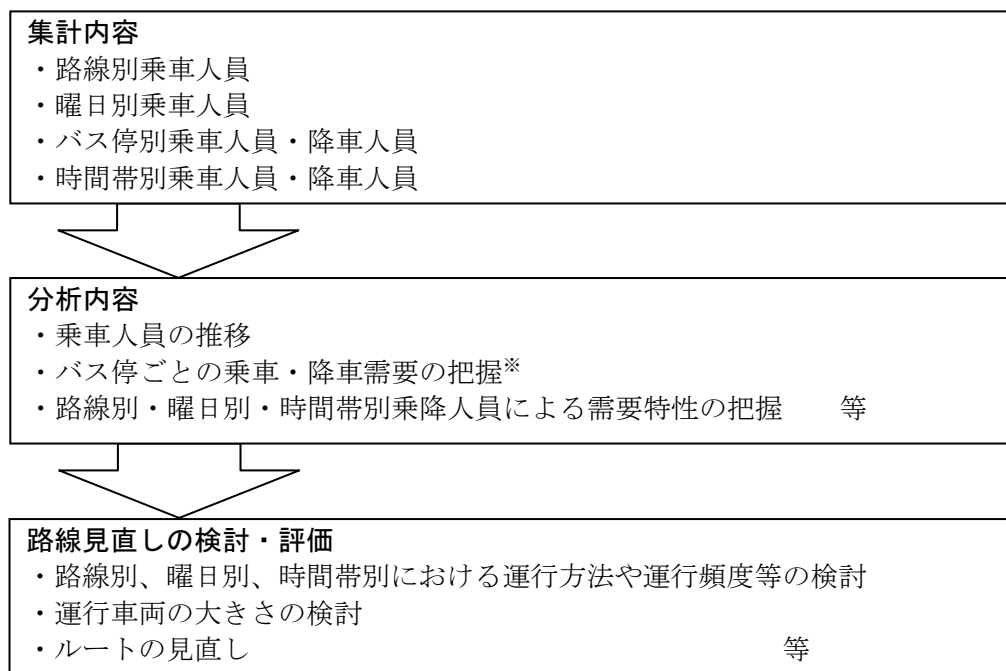
【利用者実態調査の内容について】

昨年度に作成した弥富市地域公共交通総合連携計画においては、事業期間（3ヵ年）の各年度ごとに路線見直しの検討・評価を行なうこととなっており、そのための指標として利用者実態調査（バス乗降者数調査、バス内滞留人数調査）を行なうものとしている。

◇調査期間：9月・10月の2週間分×2回

◇調査方法：運転手により停車時に専用用紙に日報形式で路線別、バス停別、運行時間帯別乗降人員を記入

◇集計と分析の内容



※乗車需要と降車需要について

1つのバス停における乗車人員と降車人員は、行きと帰りとで必ずしも同じ交通手段、同じバス停を利用するとは限らないことから一致しないことが多く、乗車人員からだけでバス停需要を把握するのは、利用者の利便性を損ねる可能性がある。

また、「乗車人員、又は降車人員のどちらが多いバス停」は、目的地又は出発地となっていることが多く、「乗車人員、降車人員の両方が多いバス停」は、目的地又は中継地となっていることが多いと考えられることから、施設分布や居住人口分布と組み合わせて検証することで、そのバス停が目的地か出発地かを推察することが可能となり、今後の運行ルートの見直し検討にとって、非常に有効となる。